

東京アマデウス合唱団
第9回定期演奏会

Tokyo Amadeus Chorus

W.A. Mozart

F.J. Haydn

^{'88} 12/10_(土)

こまばエミナース

プログラム

1

W.A. Mozart

サンクタ マリア マーテル デイ

Sancta Maria, Mater Dei K.273

——昇階唱『主の御母、聖マリア様』——

W.A. Mozart

ミゼリコルデアス ドミニ

Misericordias Domini K.222

——奉納唱『主のいつくしみを』——

F. J. Haydn

小オルガンミサ曲

Missa brevis St. i Joannis de Deo

——略式ミサ『神の聖徒ヨハネ』——

Kyrie	主よあわれみたまえ
Gloria	神に栄光あれ
Credo	我は信ず
Sanctus	聖なるから
Benedictus	ほむべきかな
Agnus Dei	神の子羊

2

W.A. Mozart

ヴェスベレ

Vesperae solennes de confessore K.339

——証聖者を記念する盛儀晩課——

Dixit	主はいわれる
Confitebor	主をほめまつる
Beatus Vir	主をおそれて
Laudate pueri	ほめたたえよ 主のしもべたちよ
Laudate Dominum	主をほめたたえよ
Magnificat	我が心は主をあがめ

第9回定期演奏会によせて

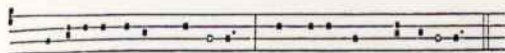
昨年11月、私がこの合唱団に初めてやってきました時には人数も少なく、このままで翌年の定期演奏を行うことができるものであろうかと思われましたが、その後の団員らの努力によりまして、ようやく今日にたどりつくことが出来ました。音楽的にも、運営の面でも、まだまだ多くの課題を抱えていると思われませんが、それ故にこそこれからが楽しみではありません。今後も様々な問題に直面するものと思われませんが、古典派の合唱音楽を中心に据え、アマデウスの名に恥じない貴重な合唱団として着実に発展してゆかれることを切に願っています。

斎藤 明夫

今回の定期演奏会では、1755年-1780年という短い間に作曲されたウィーン古典派に属する二人の代表的作曲家A. モーツァルトとJ. ハイドンの教会音楽をお聴きいただきます。

Graduale < Sancta Maria, Mater Dei > (昇階唱『主の御母、聖マリア様』)
K. 273 1777年9月9日ザルツブルグで完成、前日が聖マリアの祝日なので、この祝日のため作曲された事が認められ、一方モーツァルトのパリ旅行を目前にしての強い堅信の意思を反映した作品とも考えられています。全体は一種のソナタ形式をなしており<Tu, tu pia me pedibus tuis advolutum recipe> (マリア様、誠実なマリア様、あなたの足もとにひれふす私をお慈悲によって受け容れて下さい。)の部分で、冒頭の祈りの主題が再現されます。

Offertorium < Misericordias Domini > (奉納唱『主のいつくしみを』)
K. 222 (205a) 1775年1月(又は2月)ミュンヘンで作曲を完成。3月5日の主日に同地の教会で四季斎日の奉納唱として初演。ホモフォンで唱われる<Misericordias Domini>の部分は、ザルツブルグの先達ヨハン・エルンスト・エーベリンの奉納唱Benedicti Domineから採った旋律を用い、これとグレゴリオ聖歌に学んだフガート風な対位法による<cantabo in aeternum>の部分が転調しながら11回くり返されます。この後者の主題はグレゴリオ聖歌の同部分(譜1)を歌詞を入れ替えて変形させたものです。



(譜1)

1. Mi-se-ricórdi-as Dómi-ni * in aetérnum cantá-bo.

テキストは、詩篇89の冒頭を用いています。<Misericordias Domini>を唱う二重合唱の部分などにイタリアの作曲家達の影響が見られます。

Missa brevis St. Joannis de Deo (略式ミサ 神の聖徒ヨハネ) HobxxII-7
ヨーゼフ・ハイドンのミサ曲五番として知られ、1775年頃完成。守護聖徒神のヨハネの修道会に献げられた略式ミサです。モーツァルトのK. 339のConfiteborとBeatus virの章のソロ四重唱、Laudate pueriの章の前半部分に聞かれる、各パートがテキストの違う部分を同時に重唱して略化する方法は、このミサのGloria, Credoでもハイドンが使っています。この略式ミサの様式はミサの時間が制限されていたために生まれたもので、オーストリアや南ドイツにおいては18世紀に一般的に行われた例が見られます。このミサ曲の特徴は、Benedictusが極めて大きく取り扱われ、オルガンのソロ、ソプラノのソロが特別に美しく書かれていて、この曲が『小オルガン・ミサ』と呼ばれる理由もこのあたりにあるようです。Agnus Deiは<dona nobis pacem>(我らに平安をお与え下さい。)の歌詞が、消えてゆくようにピアノで終わり、聴く人の心を罪のゆるしの祈りへと導きます。

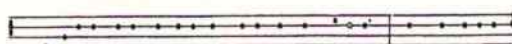
Vesperae Solennes de Confessore (証聖者を記念する盛儀晩課) K. 339
1780年ザルツブルグで作曲。この世で主を証したあるすぐれた聖徒を記念して行われた特別な晩課のために作られたもので、テキストは通常晩課で誦唱される詩篇110, 111, 112, 113の四篇とザルツブルグで伝統的に使用された詩篇117とこれも晩課の中で慣例として歌われるルカ1.47-55に基づくMagnificatとで成って居ます。

1779年に作曲されたVesperae de Dominica K. 321に比べると、厳格な観念は保存しながらも、音楽本来の表現はいっそう大胆に歌詞に与えられ、ドラマティックな実在感があふれています。例えば、冒頭の章Dixitの中で<Confregit in die irae suae reges>の部分に使われている強いフォルテ・ピアノによるアクセントは、Requiem K. 626のDies irae(怒りの日)を思い起こさせる激しさがあふれ、グレゴリオ聖歌のantiphon(譜2)の旋律を踏まえたConfiteborの中の<Magna opera Domini>の部分の音形、Magnificatの章の「あがめます」という語句に与えられた表現もグレゴリオ聖歌の原曲の音形(譜3)を極めて大胆に意味を強調するように変形させています。



1. Magni-fi-cat * á-ni-ma mé-a Dómi-num.

<Confitebor tibi Domine>の部分は、グレゴリオ聖歌を忠実に再現して、慎み深い告白の姿勢を取っています。(譜4)



1. Confi-tebor tibi Dómi-ne in tóto córde mé- 'o: * in consi-li-o

また、Laudate pueriの章では、バッハやヘンデルの古典的なフーガ技法を学んだあとがはっきり見られます。

プロフィール

荒谷 美幸
(Sop)

エリザベト音楽大学宗教声楽科卒業、同専攻科修了、鈴木仁氏に師事。在学中よりモーツァルトのレクイエム、バッハのカンタータ、ヨハネ受難曲等のソリストを務める。

藤井 あや
(Alt)

今春芸大卒。新鋭のヴォーカル集団トレリンコ所属。ソロ、アンサンブルで若い作曲家の新曲初演を多く行う等、広い分野で活躍中。

植木 紀夫
(Ten)

東京芸術大学声楽科卒業。原田茂生、高文二、岳藤豪希の各氏に師事。'86年及び'87年渡独。国際バッハアカデミーに参加。演奏会に出演。

野本 立人
(Bass)

東京芸大卒。在学中バッハカンタータクラブに所属。芸大メサイヤ、モーツァルトの戴冠ミサなどのソロを務める。伊藤亘行氏に師事。

東京アマデウス
合唱団

1980年創立。以来8年主にモーツァルト以前の宗教曲を取り上げている。87年11月より斉藤明夫氏の指導を受けている。

斉藤 明夫
(指揮・指導)

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院終了。声楽を岳藤豪希、R・フィッシャー、Ph・フッテンロッハー、宗教音楽を岳藤豪希、小林道夫各氏に師事。学部在学中よりソロ活動を開始。傍らカンタータクラブでバッハに親しむ。73-80年、オラトリオ合唱団ピアニスト。現在、渋谷混声合唱団、コール・フローラ、指揮者。カンタータクラブ、ザ・セヴンシーズ、ヴォイス・ラボ、に所属。

MEMBER

S.	阿部 小水	部野 林石	かおる 子子子 直真幸	内窪 鈴山	山田 木本	真玲 奈幾	美子 々子	大久保 並野	ルミ 雅真みどり
A.	伊大 平山	藤岩 野崎	正幸 玲孝	井加 宮	上藤 崎	やす美 穂米	子子子 子子	浦野 重泉腰	淳秀 くるみ
T.	伊中 米	原屋 原	宏夫 哲彦	加野 生口	信 広碩	片岡 古沢	繁 忠久		
B.	落吉	合田	良一 式郎	根 本	剛 黛				亮

水野 克彦

(オルガン)

東京芸術大学器楽科卒業。ピアノを滝崎鎮代子氏、オルガンを今井奈緒子氏、室内楽を細野孝興氏に師事。芸大90周年記念演奏会に出演。ピアノ伴奏・通奏低音で活躍。

W. A. M. 合奏団

1st^{fl}イリソ : 加藤洋子、緒方恵、田原加奈子

2nd^{fl}イリソ : 高田はるみ、井上恵

ピッコロ : 阿部みね子 (1st^{fl}イリソ)

サエラー・モニカ (2nd^{fl}イリソ)

チェロ : 青木祐子

コントラバス : 吉田水子

ファゴット : 鎌田比呂美

ホルン : 大貫広、松浦光男

ごあいさつ

本日は、当合唱団の第9回定期演奏会にお越し下さいますて、ありがとうございます。

私達にとってこの一年は、様々な“出会い”の年でした。

隠れた名曲モーツァルトのヴェスペレK.339 との出会い。

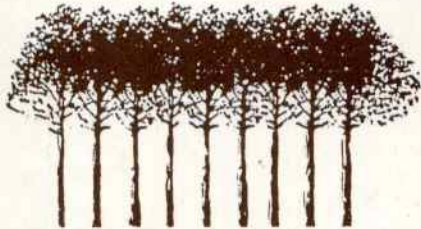
現指導者の齋藤明夫先生との出会い。

多くの新人の方々との出会い。

そして、客席の皆様との出会い。

この出会いに満ちた一年のまとめを、今宵、喜びのうちに
ご披露したいと思います。

事務局 米原 範彦



1981 February Mozart: REQUIEM
1981 November Händel: MESSIAH
1982 November Fauré : REQUIEM
1983 September Mozart: KRÖNUNGS MESSE
1984 September Mozart: RÉQUIEM
1985 October Bach : KANTATE Nr. 106
1986 October Mozart: GROSSE MESSE
1987 October Schütz : MUSIKALISCHE EXEQUIEN
1988 December Mozart: VESPERAE

団員募集

御一緒に歌いませんか。

1月11日より練習が始まります。

1度ぜひおいで下さい。

場所 : 早稲田奉仕園 スコットホール

日時 : 毎週水曜日 6:30-9:00

連絡先 : 狩野 878-8364

○W. A. Mozart

Sancta Maria, Mater Dei K.273 主の御母、聖マリア様

Sancta Maria, Mater Dei,
ego omnia tibi debeo.
sed ab hac hora singulariter
me tuis servitiis devoceo,
te patronam, te sospitatricem
erigo.
tuus honor et cultus aeternum
mihi cordi fuerit,
quem ego nunquam, deseram
neque ab aliis mihi subditis
verbo factoque violari patiar.

Sancta Maria, tu pia me pedibus
tuis advolutum recipe.
in vita portege, in mortis
discrimine defende

Amen.

主の御母、聖マリア様、
私は、全てをあなたに負っています。
けれど、今、この時から私はあなたの僕
として特別に身を献げます。
あなたを守護の聖女、救い主として選び
ます。
あなたの誉とあなたへの敬いは、とこし
えに私の心に在るでしょう。
私はそれを決して捨てることはしません。
また、ほかの者から私に、そそのかし、
吹き込まれる言葉と行いに、それを損な
うことを許しません。
聖マリア様、誠実なマリア様、あなたの
足元にひれ伏す私を受け入れてください。
一生涯を通じてお守り下さい。
いまわのきわにもお守り下さい。

アーメン

○W. A. Mozart

Misericordias Domini K.222 主のいつくしみ

Misericordias Domini
cantabo in aeternum.

わたしは主のいつくしみを、
とこしえに歌います。

○ J. Haydon

Missa brevis St. Joannis de Deo 小オルガンミサ

I. Kyrie

キリエ <あわれみたまえ>

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

II. Gloria

グローリア <栄光あれ>

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae
voluntatis.
Laudamus te. Benedicimus te.
Adoramus te. Glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam
gloriam tuam.
Domine Deus. Rex coelestis.
Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite.
Jesu Christe.
Domine Deus. Agnus Dei.
Filius Patris.
Qui tolles peccata mundi.
miserere nobis.
Qui tolles peccata mundi.
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris.
miserere nobis.
Quoniam tu solus sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus.
Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu in gloria
Dei Patris.

いと高きところには、神に栄光あれ。
地には、善意の人々に平和あれ。
我ら汝をほめまつる。汝をたたえまつる。
汝をおがみまつる。汝をあがめまつる。
汝の大いなる栄光のゆえに、感謝したて
まつる。
神なる主、天の王、
全能の父なる神よ。
主なる御ひとり子、
イエズス・キリストよ。
神なる主、神の小羊、
父の み子よ。
世の罪を除きたもう主よ、
われらをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう主よ、
われらの願いをうけいれたまえ。
父の右に座したもう主よ、
われらをあわれみたまえ。
汝のみ 聖なればなり。
汝のみ 主なればなり。
汝のみ いと高くなればなり。
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに
います、
イエズス・キリストよ。

Amen.

アーメン

III. Credo

クレド <われは神を信ず>

Credo in unum Deum.
Patrem omnipotentem.
factorem coeli et terrae.
visibilium omnium. et invisibilium.
Et in unum Dominum
Jesum Christum.
Filium Dei unigenitum.
Et ex Patre natum ante omnia
saecula.
Deum de Deo. lumen de lumine.
Deum verum de Deo vero.
Gentium. non factum.
consubstantialem Patri:
per quem omnia facta sunt.
Qui propter nos homines.
et propter nostram salutem
descendit de coelis.
Et incarnatus est de Spiritu
Sancto

われは信ず、唯一の神。
全能の父、天と地、
すべての見ゆるもの、
見えざるものの造り主を。
そして、唯一の主 神の御ひとり子
イエズス・キリストを。
そして主は、よろず世のさきに、父より
生まれ、
神よりの神、光よりの光、
まことの神よりのまことの神。
造られずして生まれ、
父とひとつにいまし、
すべてはこれによりて成れり。
主は、われら人類のため、
また、われらの救いのために、
天よりくだり、
聖霊によりて、

ex Maria Virgine:
 Et homo factus est.
 Crucifixus etiam pro nobis:
 sub Pontio Pilato passus,
 et sepultus est.
 Et resurrexit tertia die,
 secundum Scripturas.
 Et ascendit in caelum:
 sedet ad dexteram Patris.
 Et iterum venturus est cum gloria
 iudicare vivos et mortuos:
 cujus regni non erit finis.
 Et in Spiritum Sanctum,
 Dominum, et vivificantem:
 qui ex Patre Filioque procedit.
 Qui cum Patre et Filio simul
 adoratur, et conglorificatur:
 qui locutus est per Prophetas.
 Et unam sanctam catholicam
 et apostolicam Ecclesiam.
 Confiteor unum baptisma
 in remissionem peccatorum.
 Et exspecto resurrectionem
 mortuorum.
 Et vitam venturi saeculi.

処女マリアより御からだを受け、
 人となりたまえり。
 ポンティオ・ピラトのもとにて、
 われらのために十字架につけられ
 苦しみをうけ、葬られたまえり。
 そして聖書にありしごとく、
 三日目によみがえり、
 天にのぼりて、
 父の右に座したもう。
 主は、栄光とともに再び来たり、
 生ける人と死せる人とを裁きたも
 主の国は終わることなし。
 そして、主にして生命の与えぬし
 聖霊を信ず。
 そは、父と子よりいで、
 父と子とともに
 拝みあがめられ、
 また預言者によりて語られたまえ
 われは、一・聖・公・使徒継承の
 信じ、
 罪のゆるしのためなる
 唯一の洗礼をみとめ、
 死者のよみがえりと、
 来世の生命とを待ち望む。

Amen. ア

IV. Sanctus

サンクトゥス <聖なるかな>

Sanctus, Sanctus, Sanctus.
 Dominus Deus Sabaoth.
 Pleni sunt caeli et terra gloria
 tua.
 Osanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なる
 万軍の神なる主。
 汝の栄光は天地にみつ。
 いと高きところにホザンナ。

V. Benedictus

ベネディクトゥス <ほむべきか>

Benedictus qui venit in nomine
 Domini.
 Osanna in excelsis.

ほむべきかな、主の名によりて
 いと高きところにホザンナ。

VI. Agnus Dei

アニュス・デイ <神の小羊>

Agnus Dei,
 qui tollis peccata mundi:
 miserere nobis.
 Agnus Dei,
 qui tollis peccata mundi:
 miserere nobis.
 Agnus Dei,
 qui tollis peccata mundi:
 dona nobis pacem.

神の小羊、
 世の罪を除きたもう方よ、
 われらをあわれみたまえ。
 神の小羊、
 世の罪を除きたもう方よ、
 われらをあわれみたまえ。
 神の小羊、
 世の罪を除きたもう方よ、
 われらに平安を与えたまえ。

○W. A. Mozart

Vespere solennes de confessore K.339 証聖者を記念する盛儀晩課

I. Dixit Dominus

主は言われる (詩篇 110)

Dixit Dominus Domino Meo: 主はわがあるじに言われる。「私があなたのもろもろの敵を、あなたの足台にするまで、私の右に坐せよ」と。
 sede a dextris meis. donec ponam 王はあなたの力ある杖をシオンから遣わ
 inimicos tuos scabellum pedum tuorum. される。「あなたは、もろもろの敵する
 Virgam virtutis tuae emittet 人々の中で治めよ。」
 Dominus ex Sion: あなたの力ある日に、聖人たちの輝きの
 dominare in medio inimicorum tuorum. うちにその力の本源はあなたのもとにあ
 Tecum principium in die virtutis える。「朝日が光をはなつ前に、私はあなたを生んだ。」
 tuae. insplendoribus sanctorum: 主は誓いを立ててみ心を変えられること
 ex utero ante luciferum genui te. はないであろう。
 Juravit Dominus et non poenitebit 〔あなたはメルキゼデクの位にしたがっ
 eum: て、とこしえに祭司である。〕
 Tu es sacerdos in aeternum secundum 〔あなたは主の右におられて、その怒りの
 ordinem Melchisedech. 日にもろもろの王たちを滅ぼされる。
 Dominus a dextris tuis confregit in もろもろの異教の国民の中で裁きをおこ
 die irae suae reges. ない、滅びる者で満たし、沢山の地でも
 Judicabit in nationibus. implebit ろもろの首領たちを混乱させる。
 ruinas: conquassabit capita in terra 彼は途にて溪流から飲み、そのためにこ
 multorum. うべをあげるであろう。
 De torrente in via bibet: propterea 御父と御子と
 exaltabit caput. 聖霊とに栄光あれ。
 Gloria Patri. et Filio. はじめにありし如く、
 et Spiritui Sancto. 今も、いつも、
 Sicut erat in principio. そしてとこしえに。
 et nunc. et semper.
 et in saecula saeculorum.

Amen.

アーメン

II. Confitebor

私は告白します (詩篇 111)

Confitebor tibi Domine. in toto 私は正しい者の公会、およびついで、
 corde meo. in consilio justorum. et その心をつくして、主よ、あなたに告白
 congregatione. します。
 Magna opera Domini. exquisita in 主のみわざは偉大です。すべて、それを
 omnes voluntates ejus. 喜ぶ者によって、みわざは尋ね究められ
 のです。
 Confessio et magnificentia opus 告白と、そのみわざの偉大さと、その義
 ejus: et justitia ejus manet in とは、とこしえに続きます。
 saeculum saeculi.
 Memoriam fecit mirabillum suorum: 主は、なされた御自分のくすしきことを
 misericors et miserator et justus: 覚えられるでしょう。主は、いつくしみ
 escam debet timentibus se. 深くあわれみに満ち、公正でいられます。
 Memor erit in saeculum testamenti おのれを畏れる者に食物を与え、御自分
 sui. の契約をいつまでも心にとめられます。
 Virtutem operum suorum annuntiabit 御自分のみわざの力を、その民に知らせ
 populo suo. られます。もろもろの国民の所領を嗣業
 Ut det illis hereditatem gentium: として彼等に与えることによって、
 opera manuum ejus veritas et その御手のわざは真実かつ公正です。
 judicium.
 Fidelia omnia mandata ejus: その全てのさとしは確かです。
 confirmata in saeculum saeculi. これらは世々かぎりなく堅く立ち、真実
 facta in veritate et aequitate. と公平とをもってなされました。
 Redemptionem misit Dominus populo 主は、その民にあがないを施し、
 suo: mandavit in aeternum その契約をとこしえに託されました。
 testamentum suum.

Sanctum et terribile nomen ejus:
initium sapientiae timor Domini.
Intellectus bonus omnibus
facientibus eum laudatio ejus manet
in saeculum saeculi.
Gloria Patri, et Filio,
et Spiritui Sancto.
Sicut erat in principio,
et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum.

Amen.

その御名は聖にして畏れ多い。主を畏れることは知恵のはじめです。これを行なう者はみな、良き悟りをえられます。主の誉れは、とこしえに続くのです。
御父と御子と
聖霊とに栄光あれ。
はじめにありし如く、
今も、いつも、
そしてとこしえに。

アーメン

III. Beatus vir

Beatus vir qui timet Dominum: in
mandatis ejus volet nimis.
Potens in terra erit semen ejus:
generatio rectorum benedicetur.
Gloria et divitiae in domo ejus:
et justitia ejus manet in saeculum
saeculi.
Exortum est in tenebris lumen
rectis: misericors, et miserator,
et justus.
Jucundus homo qui miseretur et
commodat: disponet sermones suos in
justitia: quia in aeternum non
commovebitur.
In memoria aeterna erit justus: ab
auditione mala non timebit.
Paratum cor ejus sperare in Domino,
non commovebitur donec despiciat
inimicos suos.
Dispertit, dedit pauperibus:
justitia ejus manet in saeculum,
in saeculum saeculi:
cornu ejus exaltabitur in gloria.
Peccator videbit, et irascetur,
dentibus suis fremet et tabescet:
desiderium peccatorum peribit.
Gloria Patri, et Filio,
et Spiritui Sancto.
Sicut erat in principio,
et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum.

Amen.

幸いなり (詩篇 112)

主を畏れて、そのもろもろのいましめを大いに喜ぶ者は幸いである。その子孫は地において力ある者となり、正しい者の輩は祝福を受けるであろう。ほまれと富はその家にあり、その義はとこしえにつづく。

光は正しい者のために、闇の中に現れた。主はいつくしみ深く、あわれみに富み、正しくいらせられる。あわれみをほどこし、貸しあたえ、さばきの時にその言葉をきちんと申し立てる人は幸いである。その人はとこしえに動かされることのない。義はとこしえに覚えられて、悪いおとずれのゆえに恐れを抱くこともない。その心は主に望みをかけ、その敵を見下すまで、恐れおののく事はない。

彼は貧しいものに分ち与えた。その義はとこしえにいつの世までもつづく。

その角は誉をえて、あげられるであろう。罪人はこれを見て怒り、歯をかみならして消え去る。罪人達の願いは、消え失せるのである。御父と御子と
聖霊とに栄光あれ。
はじめにありし如く、
今も、いつも、
そしてとこしえに。

アーメン

IV. Laudate pueri

Laudate pueri Dominum: laudate
nomen Domini.
Sit nomen Domini benedictum,
ex hoc nunc et usque in saeculum.
A solis ortu usque ad occasum,
laudabile nomen Domini.
Excelsus super omnes gentes
Dominus, et coelos gloria ejus.
Quis sicut Deus noster, qui in
altis habitat, et humilia respicit
in coelo et terra?

ほめたたえよ、主のしもべたちよ (詩篇 113)

ほめたたえよ。主のしもべたちよ、主のみ名をほめたたえよ。主のみ名に祝福あれ。今よりとこしえに至るまで。日の出る処から、日の入る処まで、主のみ名は、ほめたたえられるべきである。主は、全ての国民の上に高くいらせられ、その栄光は天より高い。高きところに住まれ、謙遜に天と地を見下されるわれらの神に比ぶべき者はだれか?

Suscitans a terra inopem, et de
stercore erigens pauperem:
Ut collocet eum cum principibus,
cum principibus populi sui.
Qui habitare facit sterilem in
domo, matrem filiorum laetantem.
Gloria Patri, et Filio,
et Spiritui Sancto.
Sicut erat in principio,
et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum.

Amen.

主は乏しい者をちりから起こし、貧しい
者をあくたから引き上げられる。
彼をもろもろの支配者達、御自分の民の
支配者達と共に置くために。
また、不妊の女を家庭に住ませ、喜ば
しい子供達に恵まれた母とされる。
御父と御子と
聖霊とに栄光あれ。
はじめにありし如く、
今も、いつも、
そしてとこしえに。

アーメン

V. Laudate Dominum

Laudate Dominum omnes gentes:
laudate eum omnes populi.
Quoniam confirmata est super nos
misericordia ejus:
et veritas Domini manet in aeternum
Gloria Patri, et Filio,
et Spiritui Sancto.
Sicut erat in principio,
et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum.

Amen.

主をほめたたえよ (詩篇 117)

もろもろの国民よ、主をほめたたえよ。
全ての民よ、主をほめたたえよ。
そのいつくしみは、われらの上に、確か
だからである。
そして主のまことは、とこしえにつづく。
御父と御子と
聖霊とに栄光あれ。
はじめにありし如く、
今も、いつも、
そしてとこしえに。

アーメン

VI. Magnificat

Magnificat anima mea Dominum.
Et exsultavit spiritus meus in Deo
salutari meo.
Quia respexit humilitatem ancilla
suae:
ecce enim ex hoc beatam me dicent
omnes generationes.
Quia fecit mihi magna, qui potens
est.
Et sanctum nomen ejus.
Et misericordia a progenie in
progenies timentibus eum.
Fecit potentiam in brachio suo,
dispersit superbos mente cordis sui.
Deposuit potentes de sede
et exaltavit humiles.
Esurientes implevit bonis
et divites dimisit inanes.

Suscepit Israel puerum suum
recordatus misericordiae suae.
Sicut locutus est ad Patres
nostros, Abraham et semini ejus in
saecula.
Gloria Patri, gloria Filio,
gloria et Spiritui Sancto.
Sicut erat in principio,
et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum.

Amen.

私の魂は主を崇め (ルカ 1.46-55)

私の魂は主を崇め、
私の霊は、私の救いの神におどらんばかり
に歓喜したのでした。
主の早い端女を顧みて下さったからで
す。
ごらんなさい、必ず今このときから、全
ての人が私のことを、祝福された女と言
うでしょう。
力のある方が、私に大きなことをされた
からです。
そのみ名は聖なるものです。
そして主を畏れる子孫達には、そのいつ
くしみが世々に及ぶことでしょう。
主はその御腕で力を振り、
その心の思いの驕り高ぶる者を追い散し、
権力を持つ者をその座から引きずりおろ
し、卑しい者を引き上げ、
飢えている者には良きもので飽かせ、
富んでいる者を手ぶらで追い出されまし
た。
主はいつくしみを覚えて、御自分のしも
べであるイスラエルを認知されました。
それは私達の祖先に、アブラハムとその
子孫のことで、永遠に約して告げられた
とおりです。
御父と御子と
聖霊とに栄光がありますように。
はじめにあったとおり、
いまも、いつも、
そして、いつまでも。

アーメン